

令和5年度第1回大府市環境審議会 議事録

日時：令和5年7月6日（木）

午後2時から

会場：大府市役所 会議室 201

<委員出席者> 14名（敬称略）

千頭聡（日本福祉大学国際福祉開発学部教授）、西村和子（大府市教育委員会教育委員）、村瀬由理（大東小学校再任用・教諭）、渡邊省吾（愛知県知多県民事務所環境保全課課長）、吉村比富（区長会会長）、倉元須麻子（大府市地域婦人団体連絡協議会会長）、加古多美子（あいち知多農業協同組合女性部大府地域部長）、間瀬計行（大府商工会議所事務局長）、小椋和美（大府市生活排水クリーン推進員）、坂野好子（バンノ自動車商会代表）、深谷多恵子（株式会社みどりや）、近藤隆幸（株式会社豊田自動織機安全・総務部環境室室長）、相木徹（オオブユニティ株式会社代表取締役）、横山真弓（市民）

1. 開 会

- ・千頭会長より挨拶
- ・千頭会長より新規委員のご紹介

2. 議題

（1）令和4年度一般廃棄物処理実績について

【事務局】

資料1について説明。

【委員】

不燃ごみの回収が月1回になった理由はどのようなことか。また、ごみの量は減っているのか。

【事務局】

不燃ごみの回収量は20年前と比較すると約半分に減っているため、今回のプラスチック製品回収の開始と合わせて回収頻度の変更を行った。

【委員】

浄化槽汚泥の活用方法はあるか。

【事務局】

現在は焼却処分を行っている。下水道汚泥は過去に境川浄化センターで汚泥肥料「サカイカンピ」として配布を行っていた（平成27年度配布終了）。

【委員】

資源化されたメタル及びスラグの配分はどの程度か。

【事務局】

メタル 200 t、スラグ 1,500 t である。

【委員】

令和 5 年度目標原単位が令和 4 年度実績値よりも増加しているのはなぜか。

【事務局】

令和 3 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画の計画目標値に基づいて各年度の目標値を設定しているためである。

(2) 環境マネジメントシステムに関する取組について

【事務局】

資料 2 について説明。

【委員】

クリーン・アップ・ザ・ワールド in 大府の取組について、現在どのような活動をしているのか。

【事務局】

新型コロナウイルス感染症によるイベント等の活動縮小をきっかけに、コミュニティを中心とした大規模な活動だけでなく、小規模な活動も増えてきているため、活動回数は増加傾向にある。

【委員】

市が行った事業者向け支援内容について、施策の成果を示すものがあるとよい。

【事務局】

昨年度行った中小企業向け支援事業について事業報告チラシを展開する。

【委員】

所属団体でもダンボールコンポストやアスパに関して市との連携を行っている。今後も引き続き連携をお願いする。

【委員】

教育委員会部門で LP ガスの使用量が増加しているのは体育館でのエアコンの使用が増えているという認識でよいか。また、体育館は団体による夜間使用もあるので、団体活動の増加も一つの要因と考えられる。

【事務局】

認識の通りである。

【委員】

子ども達に実際に生きている生物や自然に触れてほしい。クリーンアップ等の清掃活動でも、清掃を目的とするだけでなく自然とのかかわりを増やしていけるとよい。

【事務局】

子ども達への生物多様性や自然とのかかわりの啓発として、「環境パートナーシップ」に

よる連携で市内企業等が主体となって活動を行っている。継続して環境パートナーシップの活動を推進する。

(3) 美しいまちづくり表彰について

【事務局】

資料3について説明。

【全体】

推薦事項について、承認。

3. その他

(1) 生ごみ分別エリアの拡大について

【事務局】

資料4について説明。

【委員】

生ごみの回収にあたっては当番の問題や生ごみの保管等のハードルがあり、住民の理解を得るのに時間がかかるのではないか。

【会長】

事業実施中の横根地区での様子どうか。

【事務局】

猫やカラス被害に関しての問い合わせはある。ネットの貸し出しやごみ出しを行う時間の徹底等を周知・啓発している。他地域への展開については、実証事業での事例や実施中の地域での工夫等も併せて周知・説明していく。

【委員】

分別するごみの量が増える、回収日が増える等の課題があると考えられる。

【委員】

生ごみ収集用の袋は、臭いが漏れない・臭いがしにくい等の機能はあるか。そういった機能があれば参加しやすい。

【事務局】

その機能はない。一つの意見として参考にさせていただく。

(2) ごみ分別アプリ「さんあーる」について

【事務局】

資料5について説明。

【委員】

広報の方法は何か。

【事務局】

広報及び自治区回覧板等で周知する予定である。

【委員】

分別されていない、ルールを守らないごみの投棄や不法投棄についてどのような対応をしているか。

【事務局】

ごみの中に排出者の氏名がわかるものがあれば、環境課で指導を行っている。その他、ごみ当番の方等にも協力をいただいている。広報やアプリ等でもごみ出しに関するルール等の啓発、周知を進める。

(3) 大府市シビック・エコポイント制度 2023 について

【事務局】

資料6 について説明。

【委員】

いつから始まった制度か。また参加人数等の目標値はあるか。

【事務局】

同主旨の制度は令和4年度から実施している。参加人数は昨年度実績より500名を目指している。

【委員】

抽選及び抽選発表はどのように行うか。

【事務局】

表計算ソフトを活用して抽選し、結果は当選者にのみ通知予定である。

【委員】

紙での申し込みはできるか。

【事務局】

紙での申し込みも可能である。申請書を記入し、公民館・環境課窓口に提出してもらう。

【委員】

発展編の応募にはすべての行動に取り組む必要があるか。

【事務局】

一つの行動の実施でも応募可能である。